

平成28年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492300130	事業の開始年月日	平成23年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社へいあん		
事業所名	グループホーム「へいあん荻窪」		
所在地	(250-0042) 小田原市荻窪887		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成27年12月25日	評価結果 市町村受理日	平成29年5月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

へいあん荻窪は、当法人として5箇所目のグループホームということで、設備面では細かな点において、経験を生かした内容となっています。安全確認用カメラを設置するなどの工夫をしている点や中庭スペースを広く取り、菜園では季節の野菜を育てている。今の時期は玉ねぎを植え、春の収穫を楽しみにしております。また、外出支援で季節の花を観たり、車での外出の難しい方も内部のイベントを積極的に開催しお客様に喜んで頂いている。今年は春にご家族・地域の方をご招待し春祭りを開催し、60名程の方にご来場いただきました。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成29年2月8日	評価機関 評価決定日	平成29年5月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 この事業所は、JR東海道線と小田急線の小田原駅から徒歩20分程の住宅地にある。建物は木造2階建てで、建物横には散歩道やベンチ、手すり、菜園、東屋などが設置された庭がある。トイレ、浴室、廊下などは十分なスペースをとっている。各ユニットには、鏡の角度を変えられる車椅子対応の洗面台が設置され、利用者に配慮した設計になっている。
【理念に基づく支援の実践】 「私たちは、心からの笑顔で明るく楽しい暮らしを創っていきます」「私たちは、いつもお客様を敬い、思いやり、ゆっくりと丁寧なケアを心がけます」「私たちは、共に支え合いながら、お客様の安全と安心に心を寄せています」という理念の実践に努めている。利用者の笑顔が見られるようにとの思いを持ち、職員全員で年間行事計画を作成して、春祭り、外出、外食、喫茶店開店、「劇団荻窪」の開演などの様々な行事を実施している。各所に手すりや安全確認用カメラを設置したり、毎日3回、温湿度を測定して安全で快適な環境維持に努めている。法人主催の研究発表会があり職員のスキルアップを図っている。開所時からの職員が多く利用者の安心につながっている。
【地域との連携】 地域の清掃活動やどんど焼きなどに参加し、事業所の春祭りには地域の方が参加している。事業所2階には地域住民との交流を目的とする地域交流室がある。ハーモニカ演奏、フラダンスなどのボランティアが来訪し、中学生の職場体験も受け入れている。「RUN伴+小田原」に参加して地域交流を図っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム「へいあん荻窪」
ユニット名	みかん（1階）

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム「へいあん荻窪」
ユニット名	小梅（2階）

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所時のスタッフ全員で作成した事業所理念を毎朝の朝礼、申し送り時に唱和、理念の共有に努めている。	理念は開所時前に職員全員で作成したもので、事務所やフロアに掲示し、毎朝の申し送り時に唱和して確認している。職員はチームワークを大切に、笑顔で利用者に接している。職員が自主的に「劇団荻窪」を立ち上げ、脚本から舞台装置、衣装などを自前で作り、利用者を楽しませている。毎月喫茶店を開店させて利用者のくつろぎと話し合いの場を設け、信頼関係を築いている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃活動やお祭りなど各種イベントに参加している。ボランティアの方にも参加して頂いたりしている（ハーモニカ・フラダンスなど）	荻窪自治会に加入し、清掃や草むしり、どんど焼きやお祭りなどの地域行事に参加している。「RUN伴+小田原」に参加し地域交流を図っている。事業所の春祭りには地域の方の参加がある。白山中学校生徒の職場体験やフラダンス、ハーモニカ、太鼓などのボランティアを受け入れており、利用者と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して、入居者の状況の報告、介護度などを報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開所以来、2ヶ月に1度、定期開催しており、ご入居者の状況や運営状況などを報告している。	運営推進会議は2か月に1回開催している。参加者は利用者代表・家族・民生委員・地域包括支援センター職員・管理者などである。事業所の活動や行事報告、地域行事や防災関連の情報確認をしている。民生委員からは地域の独居の方の状況報告などがある。事業所としていつでも介護についての相談を受け入れる準備がある旨を伝えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	小田原市役所高齢介護課や第6地域包括支援センターとやりとりを行っている。	小田原市役所高齢介護課とは、要介護認定更新や運営推進会議議事録、外部評価の目標達成計画などの書類提出などで連携を図っている。第6地域包括支援センターとも常に連絡をとり、「グループホーム小規模多機能連絡会」に参加し、他の事業所と交流している。市主催の研修会には積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束にあたる具体的な行為は正しく理解し、定期的研修等通じて教育を行っております。安全確保の観点から、玄関の施錠、2階フロア出入口の施錠を現在行っています。	身体拘束をしない旨の方針を契約書、重要事項説明書に明記し、契約時に説明している。毎年法人による身体拘束・虐待防止についての研修を実施している。玄関やフロアのドアについては、家族の了解を得て、安全のために施錠しているが、利用者が外出したい様子があれば職員が対応している。転倒リスクの高い利用者にはベッドサイドにセンサーマットを設置している。言葉による拘束については管理者がその都度注意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年度は1月～3月にかけての身体拘束・虐待防止研修を全スタッフ受講予定です。ミーティングの際、虐待に繋がることがないか話し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については現在利用実績なし		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時、契約書、重要事項説明書、預かり金管理及び日用品購入等代行についての約定書等について十分な時間を取り、ご説明、ご理解いただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに要望、意見を頂いている	面会時に家族の要望を聞いている。薬の量を減らして欲しいという要望に協力医と調整の上、対応した。家族会は全員参加で年1回実施し、要望収集や意見交換をしている。「荻窪だより」を発行し、利用者の状況や連絡事項、行事の写真を添えて、個別に家族に送付している。利用者の意見や要望は日ごろのケアで表情や態度から把握している。家族の来訪のない方には管理者が訪問して、様子を伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のリーダーミーティング、フロアミーティングにて、意見や提案を聞く機会を設けている。	職員は朝夕の申し送り時に、申し送りノートを活用して、意見や要望を記入している。毎月1回のミーティングで意見や提案などについて話し合っている。職能等級制度に基づいて、管理者が職員の自己評価について面接をする機会が年2回ある。職員の意見や要望はケアや行事に関することが多く、管理者は適切に対応し、常に風通しの良い関係づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	平成27年4月にて、介護職員処遇改善に繋がる賃金体系見直しを実施、また職業能力等級にて給与水準を明確化している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員それぞれが力量に合せた目標を設定、個々のレベルアップを図る環境を整えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループ連絡会への参加、活動等について、理解と支援をして頂いている。3回目となるRUN伴+小田原に参加、マラソンを通じて相互交流を深めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所当初の不安を出来る限り緩和できるように、スタッフ全員が笑顔で、お客様の声に耳を傾けることを心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等との関係作りは、入居者の安心の生活にも欠かせない条件であると認識し、契約時から信頼関係作りに重点を置いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントの段階で、出来るだけご本人、ご家族の意向を聞きだし、ケアプランに反映するよう心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯たたみや食器洗いなどその人が出来ることを行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がホームに立ち寄りやすい雰囲気作りに注力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族だけでなく、友人の方々も気軽に面会に来やすい環境づくりに努めている。年末年始は特に多くの方がご面会に来られた	アセスメントや家族の協力で馴染みの人や場所との関係を把握している。家族や友人の来訪時には、居間や居室に通して、お茶の接待もしている。編み物や野菜作り、草むしりなど今までの生活習慣をできる限り継続している。年賀状のあて名書きや電話の取次ぎの支援をしている。家族対応で墓参りに行く方や自宅に帰る方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性については、日頃から注意深く観察し、適切なフォローで関係作りを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、必要に応じて本人、家族が気軽に相談、声かけて頂ける関係作りを心掛けている。逆に退去後のご様子もご連絡して頂いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	月1回のモニタリングや担当制により一人ひとりの利用者の希望、意向を把握できるような体制をとっている。	アセスメントや介護計画作成時に利用者・家族の意向を確認する機会がある。日常生活の中でも把握に努めており、特に入浴の際などに1対1になる機会を利用して意向の把握に努めている。情報は申し送りノートに記入して職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	機会ある毎に、管理者、計画作成担当者、又はフロアリーダーからご家族等にこれまでの経過等を聞き取るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状把握は、スタッフ全員が心がけ、個別サービス記録・申し送りノート、ミーティング等に残し情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のモニタリングは、各担当者がまとめ、フロアミーティングにおいて検討、介護計画を作成している。	管理者と計画作成担当者がアセスメントをした後、暫定の計画を作成して、1か月後に職員全員でモニタリング、カンファレンスを実施し、介護計画書を作成している。6か月ごとに、計画作成担当者が「支援総合評価」を作成し、見直している。介護計画書の実施状況は「個別サービス記録」に記入している。往診時に医師や看護師の意見を把握し、家族の来訪時に要望を聞いて、介護計画に反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアプランの実践状況は、スタッフ全員で個別記録への記入を心掛けている。申し送りノート、横ノート（スタッフ間情報共有用）を利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	H25年7月より、共用型の通所を開設し受け入れの準備をしている。(過去1名利用)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じて、訪問マッサージ・訪問歯科等活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診頂けるかかりつけ医として、現在内科と精神科のDr 2名に関わって頂いている。	協力医以外の往診医を利用している方が1名で、他はすべて協力医を月2回受診している。往診は精神科医が月1回で、歯科医は随時ある。健康管理のため、看護師が毎週訪問している。皮膚科や整形外科は原則、家族が付き添うが、やむを得ない場合は職員が対応している。家族対応の受診内容は申し送りノートに記入して職員間で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の訪問看護ステーション(平塚)から、週1回訪問を受け、入居者の健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のソーシャルワーカーとは、緊密に連絡を取り合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に当社の方針はお伝えし、ご理解頂いている。必要に応じて「重度化した場合における対応に関する同意書」の締結等行っている。	「看取りに関する指針」を作成し、契約時に利用者や家族に丁寧に説明し、同意書を得ている。昨年7月に看取りを1名実施した。職員には事前に看護師による研修を実施し、往診医、看護師、家族の協力体制で対応している。	今後ますます高齢化により、看取りのケースが増加することが予想されます。毎年研修は実施していますが、外部研修や経験のある職員の情報を共有するなどさらなる充実した研修の実施を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ全員がCPR研修を受講済み、日常の朝礼時にもCPR手順を復唱し、実践力を身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年度は5月と10月避難・災害訓練を実施、2月に消火訓練を実施する予定です。	6月に消火、10月に大地震を想定した訓練を実施し、2月に通報訓練を予定している。夜間を想定した訓練が主で、地域の方の参加もあり、利用者の見守りをお願いしている。スロープ、スプリンクラー、自動通報装置が設置し、避難用の通路はコンクリートで舗装している。備蓄は食料、飲料水、カセットコンロ、簡易トイレ、薬など3日分がある。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフミーティングなどで周知し、また言い合える職場環境に努めている	個人情報保護と倫理、法令順守については、法人の研修で学習している。職員は利用者を人生の先輩として敬い、さん付けで呼んでいる。不適切な言葉遣いについてはその場で管理者が注意している。トイレ誘導の言葉かけをする際は周囲に配慮している。個人情報を含む書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。パソコンはパスワードで管理し、持ち出しやUSB（フラッシュ）メモリなどの外部媒体の使用を禁止している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が気兼ねなく思いを伝えられる雰囲気を作ること、その為には、お客様と信頼関係を築くことを重視している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先するのではなく、お客様のペースに合わせるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服をご自身で選んで頂いたり、イベント時には化粧をするなど楽しみを持って頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力に応じて、食器洗いなど、出来ることは一緒にお手伝いして頂いています。	宅配業者から献立・食材を調達し、職員が当番制で調理している。昼食のみ、関連の会社から配送された調理品を湯煎して提供している。利用者の体調に合わせて刻み食などにも対応している。職員は、介助しながら同じものを食べている。利用者は食後の片付けと食器洗いなど出来ることをしている。正月は手作りのおせち、クリスマス会や誕生日会にはチキンやケーキなどの行事食を提供している。出前のすしなどをとることもある。和風レストランや喫茶店、回転ずし店などに行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量と水分量は毎日チェックし摂取量を把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し、実践して頂けるよう声掛けをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。排泄チェック表を活用し、排泄パターン把握に努めている。	紙おむつ使用の方が2名、リハビリパンツの方が14名（うち、夜間紙おむつに変える方が4名）で、布パンツの方が2名である。排せつパターンを把握して、トイレ誘導を基本としている。病院から退院後に紙おむつからリハビリパンツに変えた方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳、オリゴ糖など、飲食物の工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調に合わせて入浴をしていた。必要であれば時間を問わず実施し、希望があれば出来るだけ添うようにしている。	入浴は3日に1回、午後が原則であるが、他の時間でも要望に応じて対応している。要望があれば同性介助にも対応している。入浴を好まない方には、時間をかけ、担当を変えたり、声掛けを工夫して対応している。菖蒲湯やゆず湯、入浴剤も楽しんでいる。湯はかけ流しで、浴室の床はサーモタイルになっており、脱衣場にはエアコンが設置されヒートショックに対応している。個人ロッカーが設置されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に合わせて午睡のすすめや、環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理については、服薬チェック表を活用している。個別のファイルに処方された薬の内容が常に新しいものが上にくるように綴じられ確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯たたみやテーブル拭きの声掛けにて役割を作り、行って頂いている。カフェを定期的開催し気分転換を図っていただいている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	中庭やスーパーへの散歩、外出支援を行っている。ご本人の意向にてお墓りなどご家族の協力を得ながら実施している	車椅子の方も一緒に事業所の庭を利用して散歩や外気浴をしている。要望があれば、買い物など個別の外出支援もしている。近くの神社へ初詣に行ったり、ワンパクランドやフラワーガーデン、曾我梅林、小田原市印刷局の花見などに行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、現在施設にて管理しています。買物や外出にて、お好きなものをご購入して頂く等の支援を行っている。本人所持は基本ないが、小銭をお持ちの方はいらっしゃる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望されるお客様には、本人自ら電話して頂く等、支援している。年賀状も送っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心して暮らしていただける居住空間を心がけ、季節感を取り入れた装飾等工夫している。	居間は広く、明るい。オープンキッチンからは、居間や居室を見渡せ、安全に配慮した間取りになっている。空気清浄機も設置され、1日3回、温湿度の測定をして安心・快適な環境を提供している。車椅子対応のトイレは各フロアに3か所あり、男子用の便器も設置されている。廊下も広く、職員の手作りの作品が飾られて、季節感がある。車椅子対応の洗面所には角度のついた鏡を設置、また事業所内の各所に手すりを設置するなど、利用者の安全に配慮した作りになっている。清掃は職員が実施している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、ダイニングのほか、談話コーナーが設けてあり、独りになりたいお客様の良い居場所となっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、出来るだけ使い慣れた馴染みのものを持ち込んで頂いている。（照明も含めて）	エアコンとクローゼットが設置されており、利用者は使い慣れたベッドやカーテン、照明を持参している。机やテレビ、仏壇を置き、家族の写真を飾るなど好みの空間となっている。居室担当者が衣替えの手伝いをしている。ドアには職員手作りの名札が掛けられている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室や居室内の手すりの位置に配慮、洗面台も車椅子対応の鏡を備える等、工夫している。階段の段差の高さも配慮、敷地内を含め6箇所監視カメラも設置している。		



目標達成計画

事業所名

光ヶ原の介護支援

作成日

平成 29. 5. 31

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	今後増加高齢化に伴い看取りニーズが予想される。研修を定期的な実施していく。	看取りに関する研修の充実	外部研修や経験のある職員への情報共有し看取りノウハウを学ぶため	約12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。